

子育てファミリーが住み心地の良さを実感

水と緑がきらめく街“あびこ”でかなえる こだわりの子育て＆マイホーム

近年、若い子育てファミリーの住み替えが増えている我孫子市。豊かな自然と充実の子育てサポート、そしてゆとりあるマイホームが選ばれるポイントです。家族のリアルな声も参考に！

住み替え interview

私たち、我孫子で家族時間が増えました



Terasaki Family

寺崎さんファミリー

2022年1月に足立区から我孫子へ。都内で働く夫・旭さん(34歳)と妻・奈身さん(30歳)、息子(1歳)と愛猫・ひまわり君(3歳)の仲良し家族



▲緑側でのんびり過ごすのがお気に入り。住まひは、ゆとりある共有空間などが評価され、世界的なデザイン賞を受賞
▼夫婦とともに引っ越してきた愛猫のひまわり君。日当たりのいい住まいを気に入り、今ではすっかり我孫子好きに

都内通勤も家賃も変わらず

足立区1LDK→我孫子3LDKSでのびのび子育て

足立区で1LDKのアパートに住んでいた寺崎さん夫婦。妊娠をきっかけに、「もう少し静かな環境で暮らしたい」と思うようになりました。車中心のライフスタイルに合うことと、常磐道でお互いの実家に帰りやすいことを念頭に置いての新居選び。半年ほどかけて、柏・松戸・流山・守谷・八潮・越谷などで最寄り駅に近い一戸建てを探しました。ここに出合ったのは、まだ更地の時。「手賀沼公園を見て、その広さにびっくり。自然が多く、都内の勤務先とのON&OFFの切り替えができそう」と即決。その後完成した新居は、「3LDKSと部屋数が増えたのに、月々の支払額は変わらない理想的な家です」とにっこり。

我孫子に住んで驚いたのは、「ウグイスの鳴き声が聞こえる」こと。「都内は、カラスの鳴き声とサイレンばかり。遊びに来た両親にも新居は好印象でした」。子どもも広い住まいですくすくと育ち、今では手賀沼公園が散歩コースに。「今年は息子に基平を着させて、八坂神社のお祭りに親子で歩いて行ってみたいと思っています」

今春で在住4年、我孫子に来て家族で始めた少林寺拳法 2人の娘が世界大会に出場しました

友人がいる我孫子に家族で遊びに来て魅かれて、数か月後には住まい探し。中古物件をリフォームして転居、長女の小学校入学と次女の幼稚園入園はここで迎えました。「以前は都内のマンション住まいでしたが、子どもたちの成長をきっかけに一戸建てへ。夫の通勤時間は1時間ほど増えましたが、電車は座れるので“じぶん時間”としてプラスになっているようです」と、妻の恵理子さん。約3か月後にはIT企業勤務で都内在住、テニスクラブで自宅が手狭になっていた妹家族も我孫子に住み替えたほど、みんな満足しているそう。

我孫子に来てからマイカーを持てるようになり、行動範囲が広がった小林さんファミリー。親子で習い始めた少林寺拳法で、2人の娘が4年に1度開催される世界大会に出場しました。千葉県代表の小学生拳士として、市役所に星野市長を表敬訪問。「週3回、本番のつもりで練習に取り組んでいます」と長女も語りました。「世界中の選手が集まる大舞台に立てたことは、とても良い経験になったと思います。我孫子に来て、家族で新しい習い事を始めました。今では知り合いも増えて、生活を楽しんでいます」



2023年10月、「[2023年少林寺拳法世界大会 in Tokyo, Japan]」に千葉県代表として出場。大会には約40万回、2700人が参加

Kobayashi Family



小林さんファミリー

2020年3月に新居区から我孫子へ。夫・秀策さん(39歳)は都内勤務で、妻・恵理子さん(39歳)は在宅ワーク。長女(小4)と次女(小1)の4人家族

「住み替えVOICE」では、移住者の皆さんのインタビューを紹介▶▶▶



子育て

地域で手厚く 子どもを育みます

妊娠・出産・育児と家族の形が変わるときは、暮らし方を見直すチャンス。「子育てしやすいまち」を目指している我孫子市には、都心からの移住者も増えています。「より良い子育て環境+家族でくつろげる家=我孫子市」、長く手厚い支援とサービスを子育てファミリーに届ける仕組みを紹介します。

放課後の子どもの遊び場「あびこクラブ」

小学生を対象に、放課後や長期休暇に市内13の全小学校を遊び場として開放しています。サポーターと呼ばれる地域の人々に見守られながら、習字や囲碁・将棋(こと)・ショートテニスなどに挑戦。学校のカリキュラムでは経験できない活動があるのも特長です。



保護者と子どもの交流「子育て支援センター」

妊娠中から就学前までの子どもと保護者が集える子育て支援センターが市内に4カ所あり、季節の行事や講習会を行っています。また、子育てコンシェルジュと呼ばれる専門スタッフが施設を巡回し、育児に関する情報やサービスを案内しています。市内の公園や公共施設に出向き、体操や親子遊びを行う「出張広場」も実施中。

保育園の入園予約

産前から保育園の入園予約ができる制度があります。ならし保育期間もあり、計画的な職場復帰がかないます。

病児・病後児保育

病気が病後回復期で集団保育ができない子どもを一時的に預けられる。病児・病後児保育施設。病児：生後6か月から小学6年生まで利用可能。病後児：生後57日目から小学6年生まで利用可能。

市立小中学校の学校給食費の負担軽減

我孫子市では、第3子以降の給食費を完全無償化し、第1子・第2子には給食費月額1000円の減額を行っています。また、食物アレルギーなどにより弁当を持参している児童生徒への補助や、食料料費の高騰による給食費増額分への補助も実施しています。



我孫子のシンボル「手賀沼」

自然

手賀沼が教えてくれる 季節の移ろい

手賀沼の雄大な自然に引かれ住み替えた人は数知れず。周辺の施設やアクティビティは、多くの家族連れでにぎわっています。

手賀沼公園

手賀沼と生涯学習センター「アビスタ」に隣接した、市民の憩いの場。沼辺にある子ども広場には木陰も多く、木製遊具も大きな砂場でもたっぷり遊べます。土・日曜、祝日などに走るミニ鉄道は子ども達に大人気!
●我孫子市若松1
☎04-7185-1542 (公園緑地課)



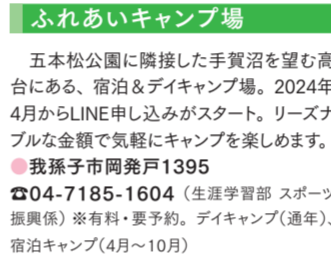
手賀沼周遊レンタサイクル

手賀沼周辺の施設や公園で自転車を借りて、サイクリングができます。子ども用と大人用が各3種類あり、大人用にはチャイルドシート付きも。ヘルメットの無料貸し出しもあり。
●我孫子市シルバー人材センター
☎04-7188-2204 (平日)
☎090-4520-3603 (貸出日のみ)



手賀沼カヌークラブ

パドルをこいで水面を滑るように進む、非日常的な体験はいかが? カヌーは1人乗りと2人乗りがあるので、家族で楽しみたい人にもおすすめです。手賀沼に建つカヌー像が間近で見られるかも。
●https://teganumacanoetakarabune.net/



ふれあいキャンプ場

五本松公園に隣接した手賀沼を望む高台にある、宿泊&デイキャンプ場。2024年4月からLINE申し込みがスタート。リーズナブルな金額で気軽にキャンプを楽しめます。
●我孫子市岡発戸1395
☎04-7185-1604 (生涯学習部 スポーツ振興係) ※有料・要予約。デイキャンプ(通年)、宿泊キャンプ(4月~10月)



ヨット体験試乗会

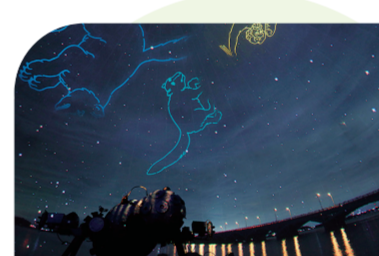
週末の手賀沼の湖面を走る、白い三角帆のヨット。アルバトロスコットクラブは1980年の設立以来、親子ヨット体験会や手賀沼清掃などの社会貢献活動も行っています。
●☎090-2567-0343 (アルバトロスコットクラブ・大室さん)
http://aycabiko.web.fc2.com/

子育てファミリーに人気のお出かけスポット



手賀沼親水広場・水の館

自然豊かな手賀沼畔にある、市民の憩いの場。水に親しむ機会を通して、手賀沼の水環境保全の大切さを感じることができます。じゃぶじゃぶ池は小さな子どもにも人気の夏休み限定の水遊び施設です。
●我孫子市高野山新田193 ☎04-7184-0555 (「水の館」内)



水の館 プラネタリウム

土・日曜、祝日に季節の星空解説と、もう1本異なるテーマの番組を上映。定員は各回50人で、1作品20分ほど。入館料も高校生以上100円、中学生以下無料で星空ドームデビューにおすすめ。
●我孫子市高野山新田193 ☎04-7184-0555 (「水の館」内)



仲馬倶楽部

馬好き・動物好きが集う乗馬クラブ。体験乗馬や乗馬教室、ビクター(騎乗)、インストラクターによる引き馬を行っています。近隣の保育園児など、小さな子ども、馬との触れ合いを楽しんでいます。
●我孫子市根戸新田 ☎080-2551-3597
https://blueberry-garden.jp/



あびこ農産物直売所

我孫子の地産地消の拠点。地元産の旬の野菜がずらりと並びます。どれも採れたてで鮮度は抜群。安全・安心に配慮した農産物や手作り惣菜などがそろっています。
●我孫子市高野山新田193 (「水の館」内)
☎04-7168-0821 https://www.abiko831.jp/



ブルーベリーガーデン あびこ

新規就農支援を利用して農園を引き継いだオーナーの山田夏実さん(写真)。手賀沼を望むのどかな田園地帯で、20種300本を育成。7~8月に新鮮な完熟ブルーベリー摘みを楽しめます。
●我孫子市根戸新田 ☎080-2551-3597
https://blueberry-garden.jp/



志賀直哉邸跡 書齋

白樺派の代表的作家・志賀直哉は、1915(大正4)年から1923(同12)年までここで執筆活動を行いました。「小僧の神様」などの名作を生み、芸術家も訪れた書齋は市指定文化財になっています。書齋の公開は、白樺文学館開館日の午前10時~午後2時。
●我孫子市緑2-7 ☎04-7185-2192 (生涯学習部 白樺文学館)

イベントカレンダー

春 spring

手賀沼遊歩道

手賀沼公園から手賀沼フィッシングセンターまで続く、約5.3kmの散策コース。春にはソメイヨシノを中心に、濃淡さまざまな20種類600本ほどが咲き誇ります。期間限定の夜桜ライトアップも幻想的。



初夏 early summer

Enjoy手賀沼!

手賀沼とその周辺施設で遊んで、学んで、体験して、見て、食べる。多彩な企画を楽しみながら、我孫子を知ることができる人気行事です。次の開催も間近、5月の第2日曜は手賀沼へ!



夏 summer

手賀沼花火大会(我孫子会場)

1987年に利根川の治水100周年記念で始まった、地域に愛され続ける夏の風物詩。1万3500発の打ち上げ数は全国屈指。尺玉や大迫力のスターマイン、湖面から半円状に炸裂する幻想的な水中花火は必見。



晩夏 late summer

手賀沼トライアスロン大会

自転車練習の聖地でもある手賀沼周辺を舞台に、スイム・バイク・ランでトータル51.5kmのタイムを競います。16回目の2023年は、パラ選手3人がガイドとともに初参加しました。



秋 autumn

ジャパンバードフェスティバル(JBF)

2001年から毎年11月に開かれる、日本最大級の鳥の祭典。野鳥の宝庫である手賀沼に国内外から約100の団体・企業が集い、鳥学講座や船上バードウォッチングツアーなど独自の企画を行います。



我孫子インフォメーションセンター「アビシルベ」で、市内の情報を!



我孫子駅南口から徒歩1分にある情報発信基地。ふるさと産品の販売や市民活動団体による展示、時にはイベントなども開催。
●我孫子市本町2-1-10 ☎04-7100-0014

動画で魅力発信中



市の魅力発信チャンネルでは、市内のお出かけスポットやイベント情報を紹介。